

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社日清製粉グループ本社（証券コード:2002）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA

### ■格付事由

- (1) 製粉、加工食品、酵母・バイオなどの事業会社を傘下に置く純粋持株会社。小麦粉、プレミックス、パスタなどの製品ではブランド力や提案力が高く、国内トップシェアを有する。近年は海外事業も強化しており、19年には豪州アライド・ピナクル社を買収したほか、22年にはインドでイースト工場を稼働させた。持株会社によるガバナンス状況などから、グループの一体性が認められ、格付にはグループの信用力を反映させている。
- (2) 業績は安定的に推移する見通しである。国内では製粉事業の収益力は安定している。食品事業や中食・惣菜事業ではコスト増の中で価格改定を進めることで底堅い利益を確保できると想定される。海外では豪州製粉事業やインディースト事業が不振であるが、米国製粉事業が堅調であり、収益力を維持できると考えられる。堅実な財務運営方針に変化はなく、今後も良好な財務構成を維持することが可能である。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 26/3期営業利益は470億円（前期比1.3%増）の計画。国内製粉事業の水島工場稼働に伴う立ち上げ費用がマイナス要因となるものの、食品事業での価格改定効果などにより、全体の利益は増益となる見通しである。豪州製粉事業ではインストアベーカリーとの取り組み強化や製品価格の改定などに取り組んでいくことから収益性の改善につながるか注目していく。インディースト事業では販売シェアは拡大しているが、競争が厳しい。製品の販売拡大や新商品の投入などにより業績の向上につなげていくことが必要である。
- (4) 26/3期第2四半期末の自己資本比率は62.3%（25/3期末は61.4%）。インディースト事業で87億円の減損損失を計上したものの、良好な財務構成に変化はない。今後は中食・惣菜事業における冷凍食品工場新設など成長に向けた投資を計画している。また、10月には上限を200億円とする自社株買いを発表するなど株主還元も強化していく方針である。しかし、当社の安定したキャッシュフロー創出力を背景に、現状程度の財務構成は維持できると考えられる。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

### ■格付対象

発行体：株式会社日清製粉グループ本社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月16日	2029年7月13日	0.200%	AA
第2回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月16日	2039年7月15日	0.560%	AA

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025年12月4日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義  
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「食品」（2021年6月1日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社日清製粉グループ本社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したもので、たとえば、JCRが、明示的であると默示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回があります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル